



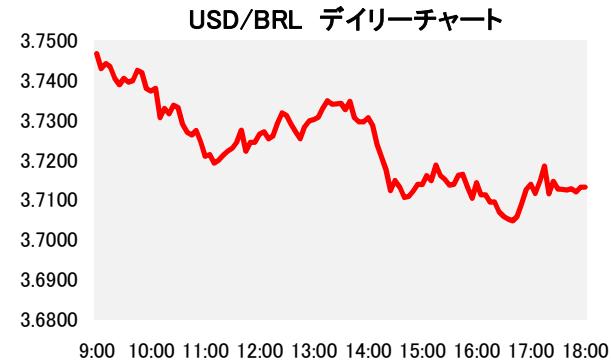
Banco MUFG Brasil S.A.
Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

		2月6日	2月7日	2月8日	2月11日	2月12日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7010	3.7180	3.7320	3.7560	3.7130 -0.0430
	BRL/JPY	Spot	29.710	29.540	29.40	29.38	29.76 +0.38
	EUR/USD	Spot	1.1364	1.1352	1.1323	1.1278	1.1332 +0.0054
	USD/JPY	Spot	109.95	109.81	109.77	110.40	110.51 +0.11
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.371	6.407	6.407	6.418	6.394 -0.024
	Future	1Year(p.a.)	6.406	6.512	6.580	6.570	6.538 -0.032
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.384	3.362	3.312	3.400	3.338 -0.063
	USD	1Year(p.a.)	3.611	3.542	3.524	3.571	3.563 -0.008
株式	Bovespa指数		94,635.56	94,405.63	95,343.13	94,412.94	96,108.19 +1,695.25
CDS	CDS Brazil 5y		165.95	169.02	173.17	174.05	170.19 -3.86
商品	CRB指数		180.559	178.102	178.040	177.115	178.208 +1.09

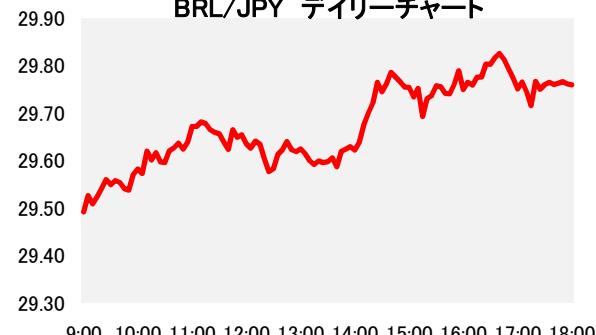
* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要經濟指標



3.要人コメント

なし



4. トピックス

- 本日のレアルは3.7450で寄り付き、直後に日中安値3.7480を付けた。入院中のボルソナロ大統領が明日にも退院するとの報道が好感され上昇。午後に入ると、米政府機関の再閉鎖に対する懸念が後退し、米株式市場が寄り付きより堅調に推移。国外のリスクオフ姿勢が緩和するとレアル買いがさらに進み、取引終盤に日中高値3.7040まで上昇した。結局3.7130でクローズ。
 - 本日、先週5・6日に開催されたCOPOM議事録が公表された。議事録では、構造改革の遅れを背景とした国内経済不透明感の高まりによるインフレ率の上昇懸念が後退したことが示された。一方、引き続きインフレ上振れリスクが下振れを上回ることを示唆。しかし、先週発表された声明文と比較して大きな変化は無く、発表直後の市場への影響は限られた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧説又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家の配布をすることはできません。